

山東ニ於ケル對米作戰計畫

昭和二十年八月  
第四十三軍司令部

陸軍

2042

6  
69i

目次

第一 第四十三軍兵力編組ノ概要

第二 築糸城

第三 八月初旬ニ於ケル各兵團態勢

(作戰警備地境ヲ示ス)

第四 兵團運用ノ梗概

(納谷貞・東京)

2043

第一第四十三軍(山東省駐屯)兵力編組概要

第四十三軍司令部

步兵六大隊

騎兵一聯隊

山砲兵二大隊

工兵一聯隊(一中隊欠)

輜重兵一聯隊

獨立混成第五旅團

步兵五大隊

(他三增加)

獨立步兵第一旅團

步兵四大隊

(他三增加)

第九獨立警備隊

步兵六大隊

第十一獨立警備隊

步兵六大隊

第十二獨立警備隊

步兵六大隊

獨立速射砲第四十五中隊

高射砲第十五聯隊(一中隊)

迫込第十八大隊

迫込第十九大隊

自動車第三十二聯隊

海軍青島方面特別根據地隊

(作戰發起ト共ニ軍指揮下ニ入ル)

航空機 水上機三基

駆逐艦 二隻 掃海艇 一隻

駆潜艇 二隻 特設駆潜艇 一隻

特設砲艇 三〇隻 特攻艇 一〇〇隻

兵力約五、〇〇〇 (地上兵力トス)

尚陸軍航空隊ノ協力胸算兵力ハ狀況ニ依ルモ

最大輕爆二戰隊、戰斗二戰隊、偵察一中隊

(軍部欠) 襲撃一戰隊、少クトモ輕爆一戰隊、

戰斗一戰隊、偵察一中隊(軍部欠)襲撃一戰隊トス

(納谷典・空軍)

第二 築城

軍ニ於テ統一の指示セル築城陣地及充當兵力予定別紙要圖第一ノ如シ

第三 各兵團ノ態勢

八月初旬ニ於テ各兵團ノ態勢及作戰地境別紙要圖第二ノ如シ

第四 兵團運用ノ梗概

一 方針

敵ノ山東來攻ニ際シテハ先ヅ為シ得ル限り其ノ空海基地設定ノ妨害ヲ圖リ爾後出血強要ヲ主眼トスル果敢鞏固ナル遊撃挺龍戰ニ依リ拵久ヲ策ス

第一期 沿岸地區作戰時期

二 敵ノ上陸進迫ヲ察知スルヤ海軍水上特攻隊

ヲ以テ其ノ戦力破推ニ努ム

此ノ際特ニ總軍、航空軍ト密ニ連絡シ空中  
特攻隊トノ戦力統合發揮ヲ図ル

三、敵上陸スルヤ沿岸各兵團ハ其ノ準備セル

築城陣地及遊虫據点ニ據リ戦強ク抵抗  
ヲ行ヒ特ニ當初ニ於テ大打虫ヲ予ルニ努ム

四、敵ノ空海基地ニ對シテハ沿岸各兵團ハ主トシテ  
遊虫挺龍襲戦ニ依リ極力其ノ設定茲ニ使用  
妨害ヲ図ル

五、登州道（山東半島東北）方面ニ上陸ノ敵ニ對  
シテハ第十ニ獨立警備隊ヨリ一部兵力ヲ派遣シ  
對抗セシムコトアルヲ予期ス

六、状況ニ依リ獨立歩兵第一旅團ノ主力若クハ一部  
ヲ青島方面ニ使用スルコトアリ

(納谷典・東京)

七軍ハ情報収集所ヲ高密附近ニ設定シ司令部ハ濟南ニ位置ス

第二期 敵ノ奧地進攻時期

八沿岸各兵團ハ依然從來ノ作戰地域ヲ根據トシ全面的ニ遊撃戰ヲ展開シ敵ノ奧地進攻ヲ極力妨害ス

之カ爲特ニ兵站集積地ノ殲滅擾乱ニ努メ飽ク迄航空基地使用ノ妨害ヲ策ス

九第九獨立警備隊ノ一部ヲシテ益都附近ノ地障ヲ利用シ敵ノ前進遲滯ニ任ゼシム

十第四十七師團及第九獨立警備隊ノ主力ヲシテ適時濟南附近萊城陣地ニ入ラシメ之ガ

防備ヲ促進ス

十一狀況ニ依リ第十一獨立警備隊ノ一部若クハ

主力ヲ濟南附近ニ招致スルコトアルヲ予期ス  
十二山東半島北部渤海沿岸方面ニ敵上陸ノ  
場合ニ於テハ航空及地上ニ部隊ヲ以テスル  
偵察ニ努力メ濟南附近主力兵團ノ該敵ニ  
拘制セラザル如ク留意ス

十三軍司令部ハ適時龍洞附近陣地ニ転位ス  
第三期濟南附近會戰時期

十四第四十七師團及第九獨立警備隊ノ各一  
部ヲ以テ遊撃挺襲行動ニ依リ進及敵軍ヲ  
濟南附近華城陣地方面ニ牽制セシム

十五軍主力ハ濟南附近陣地ニ據リ鞏固ナル  
抵抗ヲ以テ總軍或ハ方面軍増援兵團ノ  
作戰ヲ容易ナラシム

十六狀況ニ依リ軍孤立作戰ノ場合ニ於テモ

(續谷興・京東)



軍主力ハ濟南附近陣地ノ死守ヲ期ス

十七、敵ノ前後分離ノ狀況ニ應ジ軍主力ハ萊城陣地外ニ於テ敵ニ對シ短切ナル打虫ヲ予フルコトアリ

其他

十八、航空軍、第十三軍、徐州及天津兵團トハ常ニ密ナル連絡協調ヲ策ス

十九、海軍青島方面特別根據地隊ハ作戰發起前適時軍ノ指揮下ニ入ルモノトシ其ノ時機ハ別命セラル

二十、共產軍其他土匪ノ蠢動蜂起ニ對シテハ各兵團ハ適時之ヲ啗碎ス

二十一、敵空挺部隊ニ對シテハ各兵團ハ機ヲ失セズ之ヲ啗滅ニ努メ己ムヲ得ザルモ皆由確保地域ノ

早期撤退ヲ防止ス

主作戰遂行時ニ於テ、空挺部隊ニ牽制ヲ致  
サシザルニ留意ス

二十三 敵主力連雲方面へ上陸ノ場合

狀況ニ依リ独立歩兵第一旅團ノ一部ヲ連雲方面  
へ派遣シ第十三軍部隊<sup>隊</sup>ト策應敵ノ奥地進攻  
防害ニ任セシム

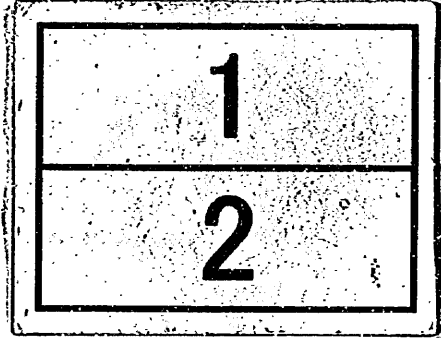
二十三 敵主力天津塘沽方面へ上陸ノ場合

狀況ニ依リ第九獨立警備隊ノ一部ヲ天津  
方面ニ派遣スルコトアリ

(精谷英・京東)

2051

# 分割撮影ターゲット

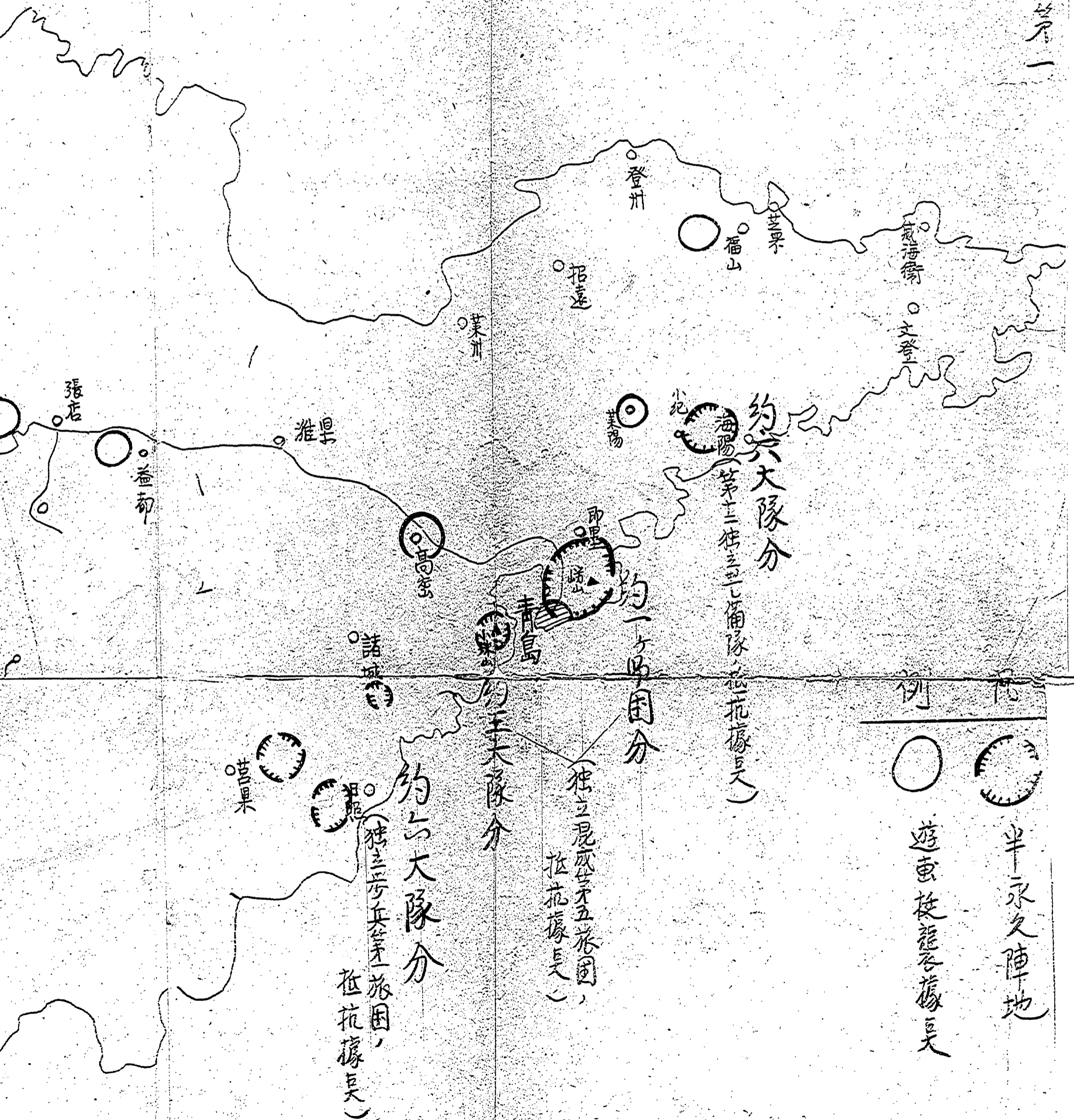
分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A3版以上のため
文書等名	第43軍 築土成役 兵力充 當予定要図 (昭和20年8月現在)
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

# 第 四 十 三 軍 築 城 及 兵 力

2052  
2053

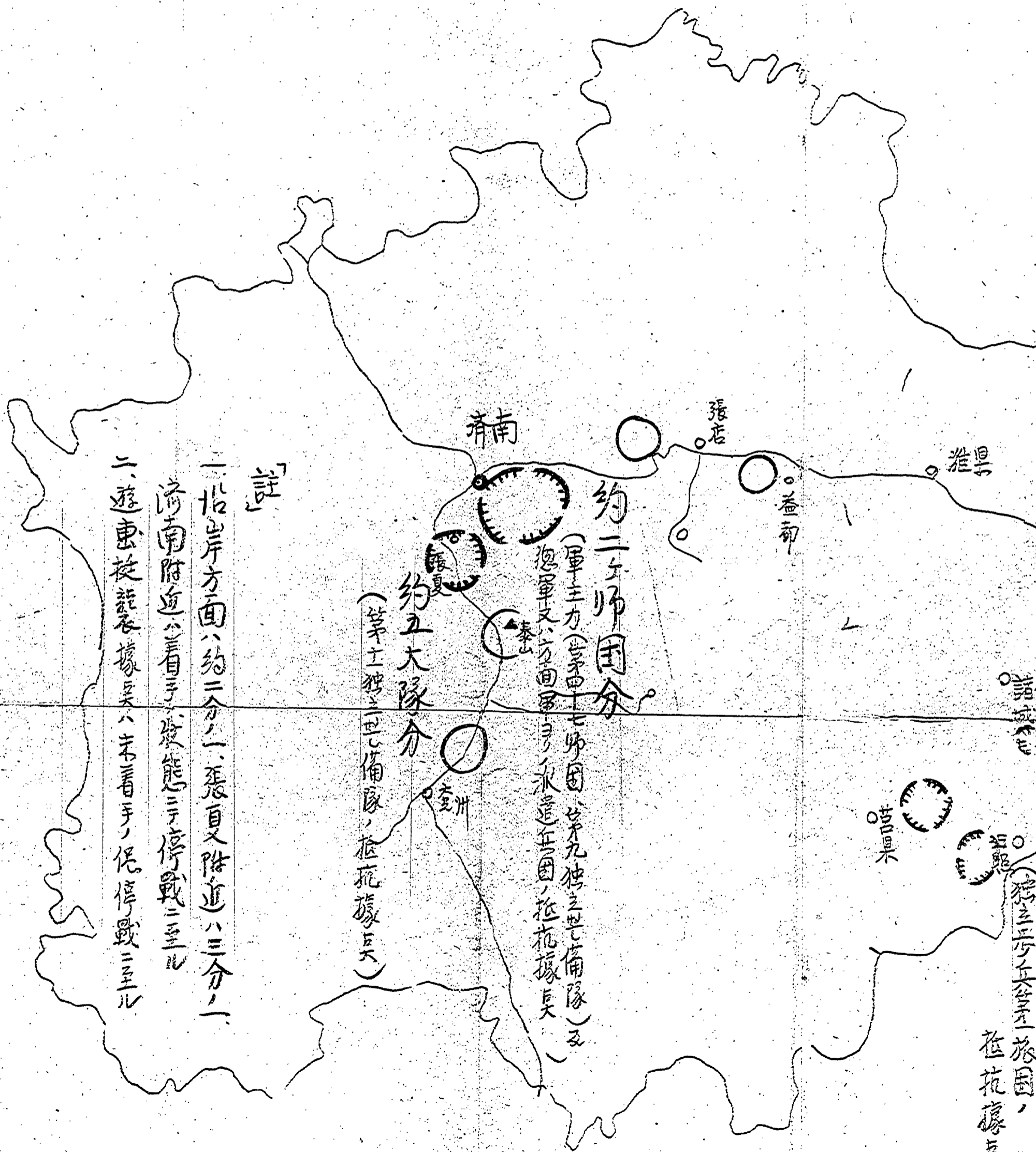
別紙要圖第一

(昭和二十八年八月)



# 築城及兵力充當要圖

(昭和二十八年八月現狀)



註

一、沿山方面ハ約二分一、張夏附近ハ三分一、濟南附近ハ着手ノ状態ニテ停戦ニ至ル

二、遼東校籠ヲ據ルハ未着手ノ俟停戦ニ至ル

約二ヶ師団分  
 (軍主力(第四十七師団、第九獨立世備隊)及  
 砲軍支隊方面等)ノ永遠兵團ノ抵抗據兵

約五大隊分  
 (第七獨立世備隊、抵抗據兵)

獨立步兵第一旅団、  
 抵抗據兵)